学びおくりあい補助金実績報告　Logoフォーム申請　１／２

申請年月日	令和8年8月27日	
1　受付NO		
2　団体名	CLUB VALER TOKYO	
3　代表者	ふりがな	カド ジュオ
	肩書・氏名	加渡 主悟
4　申請事業名	インクルーシブフットサルデー武蔵野	
5　事業目的	ロービジョンフットサルを通じて、障害の有無にかかわらず誰もがスポーツに親しめる機会を創出するとともに、視覚障害者スポーツへの理解促進を図った。また、地域団体や関係機関との連携・交流を深め、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化と持続的な発展につなげることを目的として実施した。	
6　事業対象・定員・参加者数	対象　市内在住者、視角障がいアスリート、地域団体、企業 定員　500　人　参加者数　348　人	
7　実施日時	2026/8/8	
8　実施場所	武蔵野総合体育館メインアリーナ	
9　参加料徴収の有無	無	

10　事業内容	2026年8月8日（土）、武蔵野市総合体育館において「インクルーシブフットサルデー武蔵野」を開催し、ロービジョンフットサル東日本リーグの公式戦を中心に、市民参加型の各種プログラムを実施した。大会にはCA Solua武蔵、a luz静岡、CLUB VALER TOKYO、デウソン神戸の4チームが出場し、準決勝、3位決定戦、決勝戦を実施した。 競技観戦に加え、市民がロービジョンフットサルを実際に体験できる体験会を開催した。体験会では、元ロービジョンフットサル日本代表の辻一幸氏を講師に迎え、弱視の見え方を疑似体験するゴーグル等を活用しながら、競技の特性や選手の見え方について理解を深める機会を提供した。特に市内の子どもたちやその保護者を対象とすることで、障害者スポーツを身近に感じてもらうことを目指した。 また、地域の子どもたちが参加するエキシビションマッチとして、武蔵野一小サッカークラブと大野田サッカークラブによる試合を実施した。地域で活動する少年サッカーチームが大会に参加することで、ロービジョンフットサルの競技者だけでなく、地域の子どもやその家族が大会に関わる機会を創出した。 さらに、試合間のハーフタイムショーではPEPsチアリーダーズによるパフォーマンスを実施し、競技以外の側面からも来場者が楽しめるプログラムを展開した。スポーツ団体や地域団体が同じイベントに参加することで、団体間の交流や新たな接点の創出にもつなげた。 決勝戦ではゲストMCを迎え、選手紹介や試合中のアナウンス、ハーフタイム、試合終了時の進行などを行い、来場者が競技をより分かりやすく楽しめる演出を実施した。 また、表彰式には武蔵野市の小美濃安弘市長が来場し、優勝チームへの表彰を行うなど、地域行政と連携した大会運営を行った。 大会運営においては、地域団体、大学、企業、ボランティア等と連携し、会場設営、受付、来場者案内、体験会運営、各種プログラムの進行、撤収等を協働して実施した。 ロービジョンフットサルの公式戦だけでなく、体験会、地域少年団によるエキシビションマッチ、チアリーダーズによるパフォーマンス、表彰式等を一体的に実施することで、障害の有無や年齢、所属を問わず、多様な人々がスポーツを通じて交流できる場を創出した。 これらの取組を通じて、ロービジョンフットサル及び視覚障害への理解促進を図るとともに、地域のスポーツ団体、行政、企業、教育機関、市民等の連携を深め、スポーツを起点とした地域コミュニティの活性化につなげた。
11　募集方法	入場自由のため特になし
12　広報方法	チラシ、ポスターの市内掲示 オウンドメディアでの発信
13　成果・効果	本事業を通じて、ロービジョンフットサルの観戦や体験会を通じ、来場者が視覚障害や障害者スポーツについて知り、理解を深める機会を創出した。特に、市内の子どもたちやその保護者が実際に競技を体験することで、障害や見え方の違いを身近なものとして捉えるきっかけにつながった。 また、武蔵野一小サッカークラブと大野田サッカークラブによるエキシビションマッチや、PEPsチアリーダーズによるハーフタイムショーを実施したことで、ロービジョンフットサルの競技関係者だけでなく、地域で活動する子どもや団体、その家族など幅広い層が大会に関わる機会を生み出した。競技大会を地域参加型のイベントとして展開することで、スポーツを通じた世代や団体を越えた交流の促進につながった。 さらに、地域団体、企業、大学、ボランティア、行政等の多様な主体が大会運営や各種プログラムに関わったことで、新たな連携や関係構築の機会を創出した。表彰式には小美濃安弘武蔵野市長も来場するなど、行政を含めた地域との接点を広げることができた。 これらの取組により、ロービジョンフットサルの認知向上及び視覚障害への理解促進に加え、スポーツを共通の接点とした地域内の交流・連携を促進し、今後の継続的な地域スポーツ活動や地域コミュニティの発展につながる基盤を形成することができた。
14　学びおくりあいアンケート回答者人数	12人

15　学びおくりあいアンケート集計結果	今日学んだことを誰かに伝えたいと思いますか	とても	まあまあ	あまり	どちらでもない	ぜんぜん	未回答
		５人	２人	２人	１人	２人	０人